



- ② やがて、いつかはあなたも「親」になるでしょう。
「親になった未来の自分」へ、「今の自分」からメッセージやアドバイスを届けてみましょう。

親になった未来の自分へ (年 月 日記入: 歳の自分より)

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声 (広島県教育モニターアンケートより)

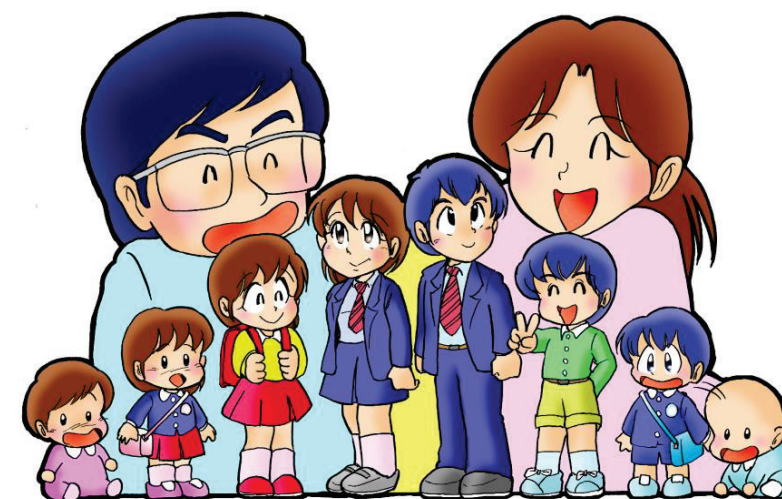


- ◆セラピーの先生から、子育ての最終目標は“親が死んでも生きていけるようにすること”と言われました。いつでもこの言葉を心の中で繰り返しています。
- ◆親が同じことを繰り返すほど、子供の耳には入らなくなるようです。親類や友だちの親など、子供にとって、少し距離があるけど信用している人からそれとなく注意（気を向ける程度で十分）してもらうと、良いようです。
- ◆長男、次男共に中学の時に非行に走りそうな時期がありました。親の方は常に子供と向き合っているつもりでも、実際には他に何か大きな問題を抱えてしまうと、気持ちが子供に向いていない時があります。中学生・高校生と体は大きくなっていても、子供たちはいつも親に自分の方を向いて欲しいと思っています。母さんにとってはあなたが一番だいじな宝物なんだと話しました。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

寄って話して
自ら気づく
「親の力」をまなびあう学習プログラム

おや！ おや？
～自分のあゆみと親のかかわり～



イラスト：うじな かずひこ

中学生・高校生など青少年の時期は、自分の親でさえも口うるさく感じる場合があります。
「親になるって、どんな気持ちなのだろう」「親になったら、どんな生活が待っているのだろう」…将来の自分の姿を想像してみましょう。
自分と親との関係にも、少しは変化が現れるかも！？

※このシートは、回収しません。自分の考えをまとめるものですので、自由に書いてください。

思い出しましょう

- ① 生まれてからこれまでの「私のあゆみ」を振り返ってみましょう！どんなことがあったでしょうか。その時、自分の親（保護者）は、どんな対応だったでしょう。（思い出したくないことや書きにくいことは、書かなくても大丈夫。人に見せる必要ありません。）

（例）生まれた頃：名前の由来、出生した時やお腹の中にいた時の様子…
 小さかった頃：病気やけがの経験、幼稚園・保育所、好きだったおもちゃや遊び、家族やきょうだいとの思い出…
 大きくなってからの事：友だちや先生との思い出、学校、地域の行事やクラブ活動、進路、将来の夢…

「私のあゆみ」

いつ (年月日)	年齢	自分の出来事	親（保護者）の 年齢や対応	日本や世界の 事件や流行など
	0才			
	現在 才			

- ② 「私のあゆみ」の中で、振り返ってみれば、親（保護者）に「ありがとう」「ぶんぶん」「ごめんなさい」と伝えたい出来事はありませんか。思い出して書いてみましょう。

<p>ありがとう</p> 	
<p>ぶんぶん！</p> 	
<p>ごめんなさい</p> 	

考えましょう、出し合ひましょう

- ① グループの中で、「私のありがとう、ぶんぶん、ごめんなさい」を出し合ってみましょう。（人に言えることだけでいいですよ。）